

2020年(令和2年)10月14日(水)第10回例会(通算2884回)

国際ロータリー第2580地区



石垣ロータリークラブ週報

会長：森田 安高 副会長：黒島 剛 幹事：東上里 広和 副幹事：吉田 貴紀

今月のロータリーレート 1\$¥106

創立年月日：1962年3月12日

今年度創立60周年



ロータリーは機会の扉を開く

2020-21年度RIテーマ

RI会長：ホルガー・クナーク

地区ガバナー：野生司 義光氏

2020-21年度 ◆クラブテーマ◆ 【心機一転】

クラブキャッチコピー：島のリズムで伝える平和と奉仕のくくる(心)

☆地区年次目標☆

「会員増強」

「公共イメージの向上」

「ロータリーデーの開催」



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなの為になるかどうか



シリーズ：森の名人・戸眞伊さんと森の木

石垣方言：シイニ 和名：イラジイ

イラジイの実は秋から冬にかけて熟して落ちる。昔はこの実をたくさん拾って食べた思い出があるそうです。

脂肪分が豊富な実はイノシシも好んで食べていたそうで、イラジイの実の落ちる季節のイノシシはまるまると太っていて美味しいとよく言ったそうです。



10月7日(水)例会報告

《司会進行：新垣 精二》

ロータリーソング：君が代 四つのテスト

ソングリーダー：新 賢次

メークアップ：遠藤 正夫 小林 昌道 佐久本 達

会員総数	47名
出席義務会員	46名
出席数	34名
欠席数	12名
出席率	73.91%
通算出席率(9月)	63.04%

★10月のプログラム 10/14(水)ゲスト卓話：江田一也様(沖縄県八重山警察署) 10/21(水)ゲスト卓話：新城剛様(石垣市消防本部)

例会日 水曜日 12:30~13:30
例会場 アートホテル石垣島(0980)83-3311
事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1-4

TEL/FAX (0980) 83-2917
URL <http://ishigaki-rotary.jimdo.com>
E-mail ishirota@ninus.ocn.ne.jp

◆ 会長挨拶: 森田安高 ◆



こんにちは。先ほど理事会が終わり石垣 RC60 周年の組織図が承認されましたので正式な組織図は Slack のほうに上げます。実行委員長に前木さん、副実行委員長に仁開さん、事務局局長に南波さん、副事務局局長に宮良薫さん、プロデューサーに黒島副会長、副プロデューサーに吉田副幹事、その下に大きく分けて総務と式典・祝賀会があります。総務委員には、会員選考委員・情報広報委員・財団委員・国際委員。式典・祝賀会には、SAA 委員・プログラム委員・米山委員・社会奉仕委員・職業奉仕委員・会員増強委員というふうにしてあります。総務の委員長はまだ承諾を取っていませんが副委員長には大浜勇人さんの名前があがっておりましたので、大浜勇人さんよろしくお願ひいたします。式典・祝賀会の委員長には大田さん、副委員長に松田さんに理事会の席で承認頂きました。これからスケジュールを進めていくにあたり、皆さんのご協力がないと出来ませんのでよろしくお願ひいたします。そして 11/4 には野生司ガバナーが訪問いたします。例会の出席 100%を達成したいと思いますので、一時間だけ石垣ロータリーの為によろしくお願ひいたします。今日の卓話は米山委員会の三人の方が卓話をするということです。今西委員長、池城委員、松田副委員長、よろしくお願ひいたします。

◆ 幹事報告: 東上里和広 ◆

本日は第 4 回理事会がありましたのでご報告いたします。11/4 (水) はガバナー公式訪問があります。会長・幹事の打ち合わせ、11:15~12:15 まではクラブ協議会。12:30~13:30 にはガバナーを招いての通常例会となります。会員の皆様にはできる限り 100%の出席をお願ひしたいと思っております。ぜひ、11/4 は予定を空けて頂きロータリーの例会を優先に出席して頂けたらと思います。ドレスコードに関しましては、後ほど Slack やメール、FAX にてご案内をさせていただきますので、ご確認の上ご参加ください。My Rotary の登録制度があります。その制度はだいぶ前からありますが、なかなか会員の登録が進まないということもあり、今年度の野生司ガバナーのテーマにも掲げられていますので、ぜひ会員の皆様には登録をしていただきガバナー公式訪問に向けて 100%登録をお願ひしたいと思います。登録の手順等のご案内させていただきますので、私と副幹事の吉田さんとで先頭たつて絶対に 100%するぞとの気持ちでやっていきますのでよろしくお願ひいたします。世界平和の鐘の会より「十・十空襲犠牲者追悼」平和記念鐘打式ご案内がありました。10/10 に会長が参加いたします。9/30 に会員の小林さんのお母様が永眠したことは皆様にご報告させていただきましたが、当クラブからお花と御香典を出させて頂きましたのでご報告いたします。

米山奨学委員会卓話

今西敦之委員長 テーマ: 米山寄付推進についてのお願ひ

10 月は米山月間ということでございまして、米山委員会から池城委員、地区に出向しております松田副委員長の三名で卓話をさせていただきますのでよろしくお願ひいたします。米山月間とは何かと言いますと、米山奨学の理解を深める、いわゆる

ご寄付をお願いする月でございます。米山奨学は現在、900 名弱ぐらいが日本に奨学生として来ております。外国留学生をロータリークラブと米山奨学委員会が共に合同に奨学生を応援、支援していこうという組織でございます。著名人といましては、国連弁務官の緒方貞子さん、ジャーナリスト評論家の金美齢さんなどが奨学生の学友として活躍されております。特に緒方貞子さんにつきましては、世界平和、国際平和という観点から米山学友として多大なる貢献をされた方だと私は思っております。米山奨学生というのは、日本と海外の架け橋になるという観点から米山梅吉さんが原点として作られた組織でございます。今日配られています米山豆辞典そしてロータリーの友に、米山月間としてのいろいろなニュースが載っております。ぜひそれにお目通しをして頂きながら米山事業に対してのご理解とご支援ご協力を頂けたらと思っております。当クラブにおきましては、会費の中から普通寄付として 5 千円頂戴しておりますが、地区目標としましては 2 万円でございます。2 万円に近づけるような形で何卒ご協力の方をお願ひいたしたいと思っております。ロータリーは米山の事業は寄付で成り立っております。そして財団もそうです。もう一つはロータリークラブの最重点項目でございますポリオ撲滅というのがございます。これも寄付で成り立っております。寄付なくして事業は出来ないということもございまして、米山事業に対して多大なるご理解とご支援を賜りたくお願ひ申し上げます。

池城貞光委員 テーマ: 米山の歴史について

米山記念奨学会の誕生、9万人のロータリアンが支援: 米山奨学事業は、日本最初のロータリークラブの設立に貢献した実業家米山梅吉の功績を記念し発足しました。1952年に東京ロータリークラブで始められたこの事業は、やがて日本の全クラブの共同事業に発展し、1967年、文部省(現在の文部科学省)の許可を得て、財団法人ロータリー米山記念奨学会となりました。奉仕の人: 米山梅吉: 米山奨学事業の記念の称号を付した米山梅吉は、幼少にして父と死別し、母の手一つで育てられました。16歳の時、長野県長泉町から上京し、働きながら勉学に励みました。20歳で米国に渡り、ベルモントアカデミー(カリフォルニア州)ウエスレヤン大学(オハイオ州)シラキユース大学(ニューヨーク州)で8年間の苦学の留学生活を送りました。帰国後、文筆家を志して勝海舟に師事しますが、友人の勧めで三井銀行に入社し常務取締役となり、その後、三井信託株式会社を創立し取締役社長に就任しました。信託業法制定されると一早く信託会社を設立して、新分野を開拓し、その目的を“社会への貢献”とするなど、今日でいうフィランソロピーの基盤を作りました。フィランソロピー、とは基本的な意味では、人類への愛や博愛などと訳され、今日的には「社会貢献」と訳される。晩年は財団法人三井報恩会の理事長となり、ハンセン病・結核・がん研究の助成など多くの社会事業・医療事業に奉仕しました。また子供の教育のために、はる夫人と共に私財を投じて小学校を創立しました“何事も人々からしてほしいと望むことは人々にもそのとおりにせよ”これは米山梅吉の願ひでもあり、自身の生涯そのものでした“他人への思いやりと助け合い”の精神を身もって行いつつ、その事について多くを語らなかつた陰徳のひとでした。世界の平和を願って一なぜ留学生支援なのか「今後、日本の生きる道は平和しかない。それをアジアに、そして世界に理解してもらうためには、一人でも多くの留学生を迎え入れ、平和を求める日本人と出会い、信頼関係を築くこと。それこそが日本のロータリーに最もふさわしい国際奉

「仕事じゃないか」事業創設の背景には、当時のロータリアンのこのような思いがありました。それから60年余りの歳月が流れましたが、「民間外交として平和の種をまく」という米山奨学事業は一貫して変わっていません。むしろ、今日の世界情勢と日本の置かれている状況を考えると、その使命はますます重要性を増しているのではないのでしょうか。留学生への支援は、未来に向かって平和の架け橋をかける尊い奉仕なのです。

松田新一郎副委員長 テーマ:地区米山活動報告

皆さんこんにちは。ロータリー米山奨学祈念事業は、日本のロータリーが作り育てた独自の事業で、日本全国34地区が参加する合同プロジェクトです。1952年に事業が始まって依頼、日本で学ぶ外国人留学生の支援をしています。公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は、この事業を行うため日本のロータリーが共同して運営する奨学財団で、財源は全て皆様からのご寄付で成り立っています。この奨学金の主な最大の特徴は、世話クラブ・カウンセラー制度です。銀行振込が多い他の奨学金と違って、米山奨学生にロータリー活動に共に参加してもらい交流をすることを大切にしています。一旦カウンセラーになるとロータークラブの活動そのものに熱心になる方も多数おり、入会間もない会員にカウンセラーをさせるというクラブもあります。実際にカウンセラーを体験した方からは、刺激を受ける事が多く、自分の仕事やプライベートに張り合いが生まれた、家族ぐるみの付き合いで自分の子供に国際交流を体験させることができロータリーに入会して本当に良かったという声が寄せられています。国際ロータリーと米山。米山奨学事業は、日本ロータリー独自の活動として作られ発展してきました。その為、ロータリーの活動ではあるものの国際ロータリーとは一線をおいていたところがあり、そうした関係が徐々に変化してきたのが2000年に入ってからです。2004年11月のRI理事会では、奨学金の事業に世界理解と平和に貢献されている財団法人、ロータリー米山記念奨学会を賞賛するとされ、ロータリー米山記念奨学会が他地区合同活動としての手続きを取ることにロータリーの名称やロータリーマークを今後も引き続き使用することを認められました。2007年には全34地区から同意を得てRIの定める他地区合同活動として全ての手続きを完了いたしました。そして2014年1月のRI理事会では、学友の定義が拡大され、米山学友もロータリーの学友となりました。これを受けて2016年のソウル国際大会には世界中の多くの米山学友が集まり、ロータリーファミリーの一員として参加したのです。「米山奨学金と奨学生」米山は外国人留学生を対象とする民間の奨学金では国内最大規模です。今年4月からスタートした2020年学年度は、日本全国で883人、前年度は614人となっています。現在、各ロータリークラブでお世話をしております。累計では世界129カ国の国と地域から21,624人を支援しています。奨学生の国、地域別の累計では、中国、韓国、台湾が多いですが、最近ではベトナムの奨学生が急増しております。米山奨学生の採用は、全国統一の基準があります。将来の目標、留学の目的がきちんとされているかどうか。交流への熱意があるかどうか。人柄の良さ、コミュニケーション能力の高さ、詳しい評価項目は公表していませんが、全国統一の評価項目を使って各地区の選考委員会が面接選考しています。ロータリー米山記念奨学会は、2012年に公益財団法人となり、より一層の公平性、透明性を確保するため、このように全国統一の基準で選考しています。米山奨学金はお金に困っている留学生の経済支援ではありません。珍しい国だから、生活

に困っているから、学校の成績が優秀だからというただそれだけでは米山奨学生に合格することはないです。新型コロナウイルスの水際対策として、日本が行っている外国人の入国制限措置により、出国したまま4月以降も日本に戻って来ることが出来ない方が多数います。8/13時点で全国54人、制限は徐々に緩和されているんですけども、今月より留学生は全世界から入国可能となる予定です。こうした奨学生には、毎月、近況を書いた報告書の提出を求めています。また、世話クラブやカウンセラーとはメールやSNSで連絡を取り、オンラインで例会に参加するなどの工夫をお願いしています。また8月からは、毎月の奨学金を半額とし、帰国月から全額支給するような体制を取っています。「地区米山活動報告」2020学年米山記念奨学事業として、2580地区に関しては40名、2020年新規生30名、継続しておられる方が10名です。中国13名、韓国6名、台湾5名、ベトナム4名、中国(内モンゴル自治区)2名、マレーシア2名、以下一名 イエメン、オーストラリア、タイ、中国(香港)、ドイツ、パキスタン、ミャンマー、ラオスとなっております。米山奨学生の選考について、2580地区に関しては、地区割り当て数と受験者数は39名、新規採用予定者数30名で沖縄の受験者数は4名、在京では80名と多数の受験数となっております。選考試験は、東京では昨年12/12、沖縄では12/5に開催されました。4人編成の面接官で6チーム、グループディスカッション等を行い、グループ面接、評価に関しましては、学友会のガイドラインに全て準じて書類審査と面接評価をいたしました。沖縄の方、地区裁量として、グループディスカッション特別に入れました。2580地区米山奨学生受入れ状況につきましては、沖縄分区11クラブあるうち3クラブ、1クラブが2年連続となっております。米山奨学生の普通の一年。義務としてまずオリエンテーションに参加する事。毎月1回以上の世話クラブの例会、ミーティングに参加して頂きます。うち1回は奨学金をお渡しする日となります。奨学期間中は、スピーチや地区行事に出席したり、奨学生レポートとしてエッセイを書いてもらいます。休学や出国する際には、奨学会所定の届け出が必要となります。出国期間は、世話クラブの例会や地区行事に出席できるスケジュールを前提としています。4月22日(水)カウンセラー・奨学生オリエンテーション、始業式は新型コロナウイルス感染拡大により延期となりました。奨学生オリエンテーションのみリモートにより実施、確約書作成により奨学制度スタート4月5日地区支給ということです。5/20日(水)6/24日(水)会長エレクト、次期米山委員長セミナーは延期となりました。6/10日(水)延期された始業式とオリエンテーションを行いまして、沖縄カウンセラーは録画郵送、私が参加したのは、奨学生ガイドダンス、継続生と沖縄奨学生オリエンテーションをZOOMで参加させていただきました。奨学生の選考、大学説明会でスタートさせていただきました。東京は6/17に実施して、コロナのため二部制で開催。沖縄では9/4に委員長、副委員長がリモートで実施させていただきました。寄付金の状況。地区別の個人平均寄付額、昨年度の全国平均寄付額は15,055円、最も高かったのは第2590地区神奈川県横浜市川崎市の27,190円でした。当地区は一人平均17,116円で全国では11番目となります。普通寄付金、安定財源として各クラブが決定した金額を会員数分、毎年全クラブから納入頂いております。当地区の普通寄付金は7,248円、全国平均額は4,788円、特別寄付金は9,868円、全国平均額は10,267円でした。当地区の特徴として、普通寄付の割合が高く特別寄付が上位と比較し

て少ない状況にあるということです。当地区の今年度の目標として普通寄付、特別寄付合わせて個人平均2万円の寄付を目標としています。当クラブの目標としては、今西委員がおっしゃった通り5千円となります。2019-20年度の寄付金収入は13億3,600万円、前年度は14億6,200万円で約7,500万円の減収となりました。皆様の寄付は殆どが奨学金に使われています。奨学金以外は地区や世話クラブへの補助費、事業部門の職員人件費などに使われております。米山奨学事業は、規模が非常に大きい事業であるにも関わらず管理費は支出のわずか3%、昨年度については全て資産の自主収入で賄えています。昨年度は一般企業でいう赤字決算でしたが、ここ数年の黒字分を積立てていますので2020学年度の奨学生採用枠は今年から30名増やして全国で890名となります。皆様が支援した元奨学生達がどのような活躍をしているのでしょうか。巣立った奨学生のOB組織、米山学友会は、日本に33、海外に9つあります。日本は34地区なので一つ足りないように見えますが、日本の全地区に学友会があります。それぞれ親睦を深めたり自主的に社会福祉活動したりロータリーの活動に協力したりしています。昨年度の活動の一部を商会いたします。第2480地区、群馬学友会では地域のお祭りで飲み物を配布したりゴミの分別をするボランティアをして頂きました。第2750地区の学友会では、カンボジアの子供達に読書の習慣を身につけて欲しいと小学校へ本屋や文具を寄贈いたしました。海外の米山学友会も頑張っています。台湾米山学友会では、台湾に留学する日本人の奨学支援は今年で12年目を迎え累計36人の支援をしています。韓国でも日本人留学生の奨学金を支援してくれています。今年で累計14人の日本人がお世話になっていま

す。マレーシア学友会では、子供の通学時にマスク着用が義務づけられた事によって、国内各地の学校に大量のマスクを寄贈いたしました。スリランカ学友会では、健康診断に行く事のできない貧しい農村で医療キャンプを実施して薬や老眼鏡を提供いたしました。2021年6月は台北でロータリー国際大会が開催されます。これに合わせて米山学友の世界大会「出会い in 台湾」が開催されます。開会式前日の予定ですが、台湾に行かれる方はぜひこちらにもご参加頂きたいと思います。詳細は米山奨学会HPでご案内しております。知っておいて頂きたいこと。まずは危機管理について、米山奨学生はほぼ全員が成人しているとはいえ、まだ大学生で勉強する学生です。青少年交換学生と共に彼らを安全に常に気にかけていただきますようお願いいたします。自然災害の場合、有事の際、世話クラブの役員また奨学生と地区米山委員あるいは学友を含めたSNSグループを作っておくと、いざという時に迅速にかくいんを取ることができます。私もそこに入っていて30人程のメンバーでラインを回しています。病気や事故、留学生は国民健康保険に加入しているので医療費は3割負担ですが、入院・手術の際に必要な高額医療費申請手続きは外国人にとって非常に厳しいです。また海外でのケガや病気は不安が大きいので出来る限りケアをお願いします。米山記念奨学生は2020年4月から現役奨学生が例会出席道中に起きた事故や病気に対する保険に加入しています。ハラスメントについて、セクハラ・パワハラに巻き込まれないように奨学生に出来るだけ接触しないようにする、事業本来の目的から遠ざかるようなことはしないでください。専用ダイヤルを設けており、ロータリアンも相談可能です。今後とも米山奨学制度をよろしく願いいたします。

～例会風景～



本日のニコニコ

- ☆森田安高氏: 米山委員会、今西さん、池城さん、松田さん、卓話ありがとうございました。
- ☆黒島 剛氏: 米山委員会の皆様、卓話ありがとうございました。
- ☆今西敦之氏: 本日、米山委員会卓話よろしくお願い申し上げます。
橋本危機管理委員長、先日はお世話になり、ありがとうございました。
- ☆新垣精二氏: 地域の皆様に支えられ明日、弊社は創立47周年を迎えます。いつもありがとうございます。

◆BOX ¥4,000 (累計 ¥65,000) ◆コイン ¥5,703 (累計 ¥20,271) 合計 ¥85,271

森田安高氏 南波正幸氏 今西敦之氏 東上里和広氏 ◆60周年記念基金 ¥4,000 累計 ¥42,000



大濱 達也氏 6日(火) 松田 新一郎氏 6日(火) 宮良 薫氏 12日(月)
西表 浩司氏 14日(水) 上原 晃子氏 23日(金) 今西 敦之氏 28日(水)

